水田作　リモコン草刈機の導入による作業省力(軽労)化の実現　【15】

経営体の概要

・所在地：栃木県塩谷町
・経営体名：個人経営
・栽培作物・作付面積：水稲11.0ha
・労働力：１名　　（令和６年５月現在）

導入経緯

○ 高齢化・担い手不足に加え、傾斜地の多い地域での法面等の草刈作業が、今後の経営維持・拡大するにあたり大きな課題であった。
○ そこで、草刈作業の省力化・軽労化を目的に、2023年からラジコン草刈機を導入した。

導入技術

○ラジコン草刈機（RCSP530：(株)オーレック製）
・ 傾斜に強いクローラータイプ（最大傾斜45°で安定走行可能）
・ 傾斜アシスト機能（クローラーの回転速度を制御し、傾斜地での直進をアシスト）　など

写真左：傾斜地の除草作業

写真中：ラジコン草刈機
写真右：コントローラー（機械等を装着する必要が無いため、軽装備での作業が可能）

取組の特徴・効果

○ 作業能力（速度）が高く、傾斜が険しい法面など作業環境の悪いほ場管理（除草作業）が容易
⇒ 導入により草刈作業の省力化及び軽労化の実現
⇒ 規模拡大や請負作業時のほ場条件（大きさ、形、傾斜など）の選定要因に大きく寄与
○ 日中（特に猛暑）時の作業の軽労化に高評価
⇒ コントローラーのみの装着（所持）のため、軽装（空調作業服等）作業により身体的疲労は激減
以上のことから、**規模拡大や定年離農延長等に期待大**

◆各種機器の特性を生かした活用（機器の組合せ等）
・ クローラー部分の刈り残しや狭い畦畔等の対応が困難
⇒ ラジコン機は作業環境が悪い時（傾斜地や日中作業など）を中心に使用し、慣行機（手押し4輪タイプや刈り払い機等）は朝夕の涼しい時に活用するなど、機器の組合せにより、さらなる省力・軽労化が可能

※導入効果・メリット（※聞き取り）
・労働時間（省力化）：　約１／２（作業期間の短縮）
・作業性（軽労化）　：　１／２以下